

## 歴代会長

初代 加藤 達夫

途中不明

森 治平 平成9年当時

途中不明

先代 志垣 昌宏

現職 矢田 和雄 (平成25年5月～現在に至る)

## 町会について

当町会は1971年に上高田に高層の団地が建築され、翌年に発足し町会活動を開始しました。発足当初は若い家族が多く、子供たちも大勢いました。

しかし、建築46年を経過して、「建築の耐震不足・老朽化」と「居住者の高齢化」という「二つの古い」に直面しています。この問題を乗り越えるために、平成21年の耐震診断をきっかけに、団地の再生に取り組んでいます。団地再生の壁になっているのが「用途地域」の問題です。1973年の用途地域の変更で「第一種低層住居専用地域」となり「既存不適格」となっていたのです。1989年の用途地域の変更で当団地の北側と東側一帯は「第一種中高層住居専用地域」は変更になったのに『ぼつんと』取り残されたのです。現在のままでは、震度5強の地震がくると「危険建物」に指定され、373世帯全員が避難生活に入らざるを得ず、地域の防災計画に大きなマイナス課題となってしまいます。これをなんとか地域の防災拠点となるマンションに再生したいというのが373世帯の願いです。

このため、何度も区長以下中野区の関係部署との協議を続けています。再生の取り組みの一方で、自らの防災力を高めるために、防災会・管理組合理事会と一体となって、緊急連絡カードの整備、100トンの受水槽タンクに緊急遮断弁と給水栓の設置、使用しなくなったダストシュート室を防災倉庫に転換して、飲料水や簡易トイレの保管、停電時に障がい者等を階段から降すストレッチャーも購入しました。

また夏の盆踊り大会は子供と踊り手不足から「防災・環境夏祭り」に衣替えしました。

更に団地独自の防災訓練として、震災時の安否確認訓練と保管している飲料水を賞味期限切れ前に各戸に給水訓練として配布しました。これは、配布訓練参加者からも受け取った方からも大好評でした。

この結果、12月の餅つき大会にはこの10年間ではかつてない数十人の参加者で、豚汁をすすりながら薄れていたコミュニティーの輪が広がり、絆が強まったと感じています。

「居住者の高齢化」の面では、ここ1～2年デイサービスの迎えの車で出かける高齢者が急増したと感じています。当団地の中でも「ふれあい食事会」や「いきいきサロン」の開設が求められています。

団地再生には、居住者の団結と近隣町会の理解と協力がどうしても必要です、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



団地中庭等

## 上高田高層団地町会催し物

7月夏祭り



12月餅つき大会